

# 決算短信補足資料

( 2022年3月期決算 )

2022年4月28日  
西日本旅客鉄道株式会社

# 1.決算ハイライト

(単位：億円)

	2021年3月期 通期実績*	2022年3月期 通期実績	対前年		2023年3月期 通期予想	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A		増減 C-B	比率(%) C/B
	A	B			C		
<b>【連結】</b>							
営業収益	9,200	10,311	+1,110	112.1	13,090	+2,778	127.0
営業利益又は損失 (▲)	▲ 2,455	▲ 1,190	+1,264	-	300	+1,490	-
経常利益又は損失 (▲)	▲ 2,573	▲ 1,210	+1,362	-	135	+1,345	-
親会社株主に帰属する 当期純利益又は損失 (▲)	▲ 2,331	▲ 1,131	+1,199	-	585	+1,716	-
<b>【単体】</b>							
営業収益	5,068	5,776	+707	114.0	7,690	+1,913	133.1
運輸収入	4,190	4,876	+686	116.4	6,730	+1,853	138.0
営業費用	7,406	7,046	▲ 360	95.1	7,645	+598	108.5
人件費	1,838	1,807	▲ 31	98.3	1,775	▲ 32	98.2
物件費	3,544	3,347	▲ 197	94.4	3,975	+627	118.8
動力費	395	408	+12	103.2	590	+181	144.6
修繕費	1,519	1,367	▲ 152	89.9	1,510	+142	110.5
業務費	1,628	1,572	▲ 56	96.5	1,875	+302	119.3
減価償却費	1,410	1,272	▲ 137	90.2	1,255	▲ 17	98.6
営業利益又は損失 (▲)	▲ 2,338	▲ 1,270	+1,068	-	45	+1,315	-
経常損失 (▲)	▲ 2,507	▲ 1,382	+1,124	-	▲ 100	+1,282	-
当期純利益又は純損失 (▲)	▲ 2,173	▲ 1,216	+957	-	480	+1,696	-

\*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

# 2.単体損益計算書

(単位：億円)

	2021年3月期 通期実績*	2022年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/31公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
	A					
営業収益	5,068	5,890 ~6,220	5,776	+707	114.0	▲ 113 ~▲ 443
運輸収入	4,190	4,990 ~5,320	4,876	+686	116.4	▲ 113 ~▲ 443
その他収入	878	900	899	+21	102.4	▲ 0
営業費用	7,406	7,230	7,046	▲ 360	95.1	▲ 183
人件費	1,838	1,790	1,807	▲ 31	98.3	+17
物件費	3,544	3,535	3,347	▲ 197	94.4	▲ 187
動力費	395	395	408	+12	103.2	+13
修繕費	1,519	1,395	1,367	▲ 152	89.9	▲ 27
業務費	1,628	1,745	1,572	▲ 56	96.5	▲ 172
線路使用料等	276	270	267	▲ 8	96.9	▲ 2
租税公課	336	345	351	+14	104.3	+6
減価償却費	1,410	1,290	1,272	▲ 137	90.2	▲ 17
営業損失 (▲)	▲ 2,338	▲ 1,340 ~▲ 1,010	▲ 1,270	+1,068	-	+69 ~▲ 260
営業外損益	▲ 169	▲ 145	▲ 112	+56	-	+32
営業外収益	84	90	133	+49	-	+43
営業外費用	253	235	246	▲ 7	-	+11
経常損失 (▲)	▲ 2,507	▲ 1,485 ~▲ 1,155	▲ 1,382	+1,124	-	+102 ~▲ 227
特別損益	▲ 239	235	110	+350	-	▲ 124
特別利益	250	280	541	+290	-	+261
特別損失	490	45	431	▲ 59	-	+386
当期純損失 (▲)	▲ 2,173	▲ 1,170 ~▲ 840	▲ 1,216	+957	-	▲ 46 ~▲ 376

\*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

# 3.運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

		2022年3月期 通期実績			
		運輸収入	対前年	主な増減要因	
新幹線	2,116	+460 (127.8%)	基礎トレンド(100.0%)		
			特殊要因	・コロナ影響(国内)の反動増	+456
				等	
在来線	2,107	+165 (108.5%)	基礎トレンド(100.0%)		
			特殊要因	・コロナ影響(国内)の反動増	+155
				等	
在来線	653	+60 (110.1%)	基礎トレンド(100.0%)		
			特殊要因	・コロナ影響(国内)の反動増	+48
				等	
	在来線計	2,760	+225 (108.9%)		
	運輸収入計	4,876	+686 (116.4%)		

※荷物収入は金額些少のため省略

# 4. 運輸収入と旅客輸送量の実績

運輸収入

(単位：億円)

	通期実績 (4/1~3/31)			4Q実績 (1/1~3/31)		
	2021年 3月期*	2022年 3月期	対前年	2021年 3月期*	2022年 3月期	対前年
全社計	4,190	4,876	+686 116.4%	1,040	1,225	+185 117.8%
新幹線	1,655	2,116	+460 127.8%	408	535	+126 131.0%
定期	101	106	+4 104.3%	24	25	+1 106.5%
定期外	1,553	2,010	+456 129.4%	384	509	+125 132.6%
在来線	2,534	2,760	+225 108.9%	631	690	+58 109.2%
定期	1,173	1,191	+18 101.5%	282	286	+3 101.1%
定期外	1,361	1,569	+207 115.2%	348	403	+55 115.8%
近畿圏	1,941	2,107	+165 108.5%	486	526	+40 108.3%
定期	962	978	+16 101.7%	233	236	+3 101.4%
定期外	979	1,128	+148 115.2%	252	289	+37 114.7%
その他	593	653	+60 110.1%	145	163	+17 112.3%
定期	211	212	+1 100.7%	49	49	▲0 99.9%
定期外	382	440	+58 115.3%	96	114	+17 118.7%

輸送人キロ

(単位：百万人キロ)

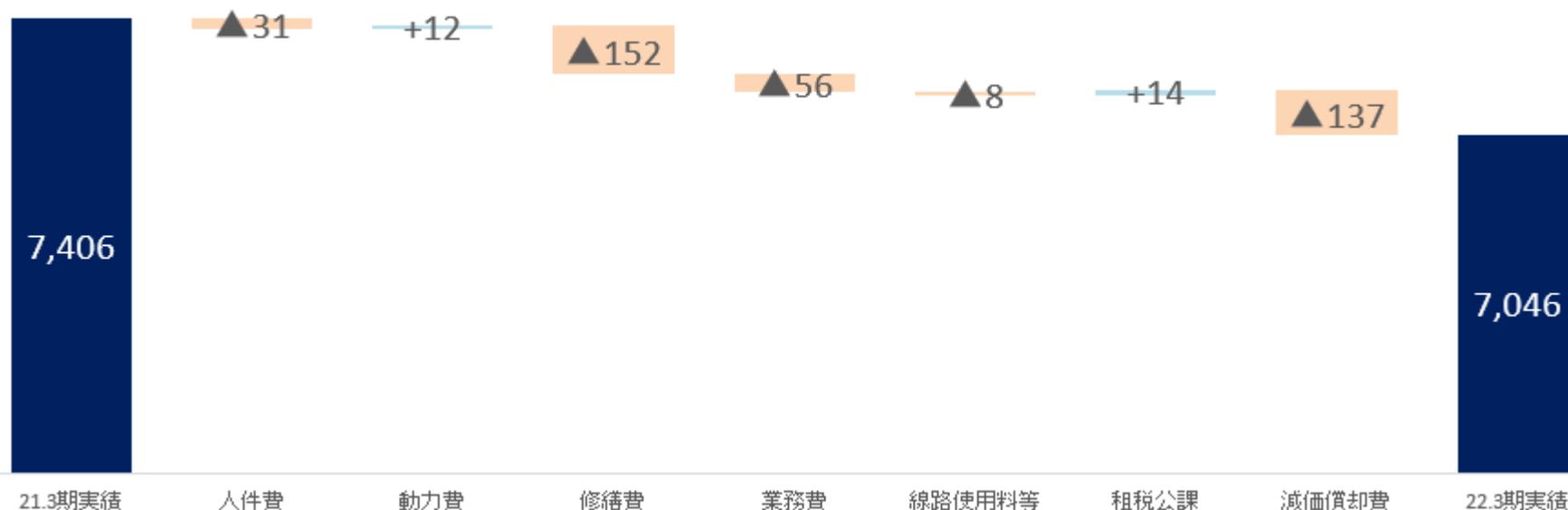
	通期実績 (4/1~3/31)			4Q実績 (1/1~3/31)		
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年
全社計	34,110	37,303	+3,192 109.4%	8,159	9,029	+870 110.7%
新幹線	7,717	9,745	+2,027 126.3%	1,882	2,465	+582 130.9%
定期	783	824	+40 105.2%	190	200	+10 105.6%
定期外	6,934	8,921	+1,987 128.7%	1,692	2,264	+571 133.8%
在来線	26,392	27,557	+1,165 104.4%	6,276	6,564	+287 104.6%
定期	18,867	19,045	+178 100.9%	4,350	4,375	+25 100.6%
定期外	7,525	8,511	+986 113.1%	1,925	2,188	+262 113.6%
近畿圏	20,934	21,888	+954 104.6%	5,027	5,230	+203 104.0%
定期	15,389	15,612	+223 101.5%	3,597	3,629	+31 100.9%
定期外	5,545	6,276	+730 113.2%	1,429	1,600	+171 112.0%
その他	5,457	5,668	+210 103.9%	1,249	1,334	+84 106.8%
定期	3,477	3,432	▲44 98.7%	753	746	▲6 99.1%
定期外	1,979	2,235	+255 112.9%	496	587	+91 118.4%

\* 2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

# 5.単体営業費用の主な増減要因

(単位：億円)

	2022年3月期 通期実績			主な増減要因
		対前年		
人件費	1,807	▲ 31	98.3%	賞与の減、人員の減 等
動力費	408	+12	103.2%	車両キロの減、燃料費調整額の増 等
修繕費	1,367	▲ 152	89.9%	工事進捗差、施策抑制による減 等
業務費	1,572	▲ 56	96.5%	会社間清算の減、業務委託費の減、広告宣伝費の減 等
線路使用料等	267	▲ 8	96.9%	東西線使用料の減 等
租税公課	351	+14	104.3%	法人事業税の増 等
減価償却費	1,272	▲ 137	90.2%	新幹線車両の償却方法見直し 等
営業費用計	7,046	▲ 360	95.1%	



# 6.連結損益計算書

(単位：億円)

	2021年3月期 通期実績*	2022年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/31公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
	A	B	C	C-A	C/A	C-B
営業収益	9,200	10,520 ～10,890	10,311	+1,110	112.1	▲ 208 ～▲578
営業費用	11,655	11,810 ～11,830	11,501	▲ 153	98.7	▲ 308 ～▲328
営業損失 (▲)	▲ 2,455	▲ 1,290 ～▲940	▲ 1,190	+1,264	-	+99 ～▲250
営業外損益	▲ 118	▲ 125	▲ 19	+98	-	+105
営業外収益	130	132	236	+105	-	+104
営業外費用	248	257	255	+6	-	▲ 1
経常損失 (▲)	▲ 2,573	▲ 1,415 ～▲1,065	▲ 1,210	+1,362	-	+204 ～▲145
特別損益	▲ 173	240	154	+328	-	▲ 85
特別利益	319	-	588	+268	-	-
特別損失	493	-	433	▲ 59	-	-
親会社株主に帰属する 当期純損失 (▲)	▲ 2,331	▲ 1,165 ～▲815	▲ 1,131	+1,199	-	+33 ～▲316
包括利益	▲ 2,404	-	▲ 1,122	+1,281	-	-

\*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

# 7.セグメント情報

(単位：億円)

	2021年3月期 通期実績*3 A	2022年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/31公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益*1	9,200	10,520 ~10,890	10,311	+1,110	112.1	▲ 208 ~▲578
運輸業	4,697	5,580 ~5,920	5,441	+743	115.8	▲ 138 ~▲478
流通業	1,087	1,480 ~1,490	1,242	+155	114.3	▲ 237 ~▲247
物販・飲食	882	1,212 ~1,222	1,020	+137	115.5	▲ 191 ~▲201
【宿泊特化型ホテル】(再掲)*2	[45]	[75] ~[85]	[62]	[+16]	[136.2]	[▲ 12] ~[▲22]
百貨店	163	224	181	+17	110.8	▲ 42
不動産業	1,413	1,530	1,511	+98	106.9	▲ 18
ジョイント・リンクセンター	423	474	456	+33	107.9	▲ 17
不動産賃貸・販売	969	1,035	1,040	+71	107.4	+5
【不動産販売】(再掲)	[498]	[563]	[566]	[+68]	[113.7]	[+3]
その他	2,002	1,930 ~1,950	2,115	+113	105.7	+185 ~+165
ホテル	153	210 ~230	185	+32	121.3	▲ 24 ~▲44
旅行	876	702	959	+83	109.5	+257
営業利益又は損失(▲)*1	▲ 2,455	▲ 1,290 ~▲940	▲ 1,190	+1,264	-	+99 ~▲250
運輸業	▲ 2,515	▲ 1,505 ~▲1,170	▲ 1,443	+1,072	-	+61 ~▲273
流通業	▲ 150	▲ 35 ~▲30	▲ 86	+64	-	▲ 51 ~▲56
物販・飲食	▲ 127	▲ 37 ~▲31	▲ 71	+56	-	▲ 34 ~▲40
【宿泊特化型ホテル】(再掲)*2	-	-	[▲43]	-	-	-
百貨店	▲ 22	0	▲ 14	+7	-	▲ 14
不動産業	292	280	300	+7	102.6	+20
ジョイント・リンクセンター	20	39	45	+24	216.8	+6
不動産賃貸・販売	189	160	172	▲ 16	91.2	+12
【不動産販売】(再掲)	-	-	[64]	-	-	-
その他	▲ 57	0 ~10	29	+87	-	+29 ~+19
ホテル	▲ 116	▲ 71 ~▲61	▲ 90	+25	-	▲ 19 ~▲29
旅行	▲ 73	▲ 25	24	+97	-	+49

\*1 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

\*2 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

\*3 2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

# 8.各セグメントの主な増減要因

(単位：億円)

			2022年3月期 通期実績			主な増減要因
			対前年			
			増減	比率(%)		
流通業	物販・飲食	営業収益	1,020	+137	115.5	・緩やかな需要回復による構内店舗、宿泊特化型ホテルの売上増 等
		営業損失	▲ 71	+56	-	
	百貨店	営業収益	181	+17	110.8	・緩やかな需要回復による店舗の売上の増等
		営業損失	▲ 14	+7	-	
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	456	+33	107.9	・SC売上高回復による賃料収入の増 等
		営業利益	45	+24	216.8	
	不動産賃貸・販売	営業収益	1,040	+71	107.4	・賃貸物件の平年度化 等
		営業利益	172	▲ 16	91.2	
その他	ホテル	営業収益	185	+32	121.3	・緩やかな需要回復による宿泊部門の売上増 等
		営業損失	▲ 90	+25	-	
	旅行	営業収益	959	+83	109.5	・旅行、非旅行事業の増 等
		営業利益	24	+97	-	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

# 9.連結財政状況およびキャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	2021年3月期 期末 <sup>*</sup> A	2022年3月期 期末 B	増減 B-A
資産	34,773	37,024	+2,250
負債	25,211	26,282	+1,070
純資産	9,562	10,742	+1,179
長期債務残高	15,595	17,248	+1,653
【長期債務平均金利 (%)】	【1.28】	【1.17】	【▲0.11】
新幹線債務	1,009	998	▲10
【新幹線債務平均金利 (%)】	【6.55】	【6.55】	【-】
社債	8,399	9,749	+1,350
【社債平均金利 (%)】	【1.11】	【0.98】	【▲0.13】
DER	1.8	1.8	▲0.0
自己資本比率 (%)	24.5	26.2	+1.7
1株当たり純資産 (円)	4,461.46	3,973.15	▲488.31

\*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

	2021年3月期 通期実績 A	2022年3月期 通期実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	▲ 1,032	▲ 864	+168
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 2,116	▲ 1,887	+229
フリーキャッシュフロー	▲ 3,149	▲ 2,751	+398
財務活動によるキャッシュフロー	4,467	3,846	▲620
現金及び現金同等物の増減	1,317	1,095	▲222
現金及び現金同等物の期末残高	2,100	3,195	+1,095

# 10.単体業績予想

(単位：億円)

	2022年3月期 通期実績 A	2023年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	5,776	7,690	+1,913	133.1
運輸収入	4,876	6,730	+1,853	138.0
その他収入	899	960	+60	106.7
営業費用	7,046	7,645	+598	108.5
人件費	1,807	1,775	▲ 32	98.2
物件費	3,347	3,975	+627	118.8
動力費	408	590	+181	144.6
修繕費	1,367	1,510	+142	110.5
業務費	1,572	1,875	+302	119.3
線路使用料等	267	270	+2	100.8
租税公課	351	370	+18	105.3
減価償却費	1,272	1,255	▲ 17	98.6
営業利益又は損失 (▲)	▲ 1,270	45	+1,315	-
営業外損益	▲ 112	▲ 145	▲ 32	-
営業外収益	133	80	▲ 53	-
営業外費用	246	225	▲ 21	-
経常損失	▲ 1,382	▲ 100	+1,282	-
特別損益	110	170	+59	-
特別利益	541	185	▲ 356	-
特別損失	431	15	▲ 416	-
当期純利益又は純損失 (▲)	▲ 1,216	480	+1,696	-

# 11.運輸収入の見通し

(単位：億円)

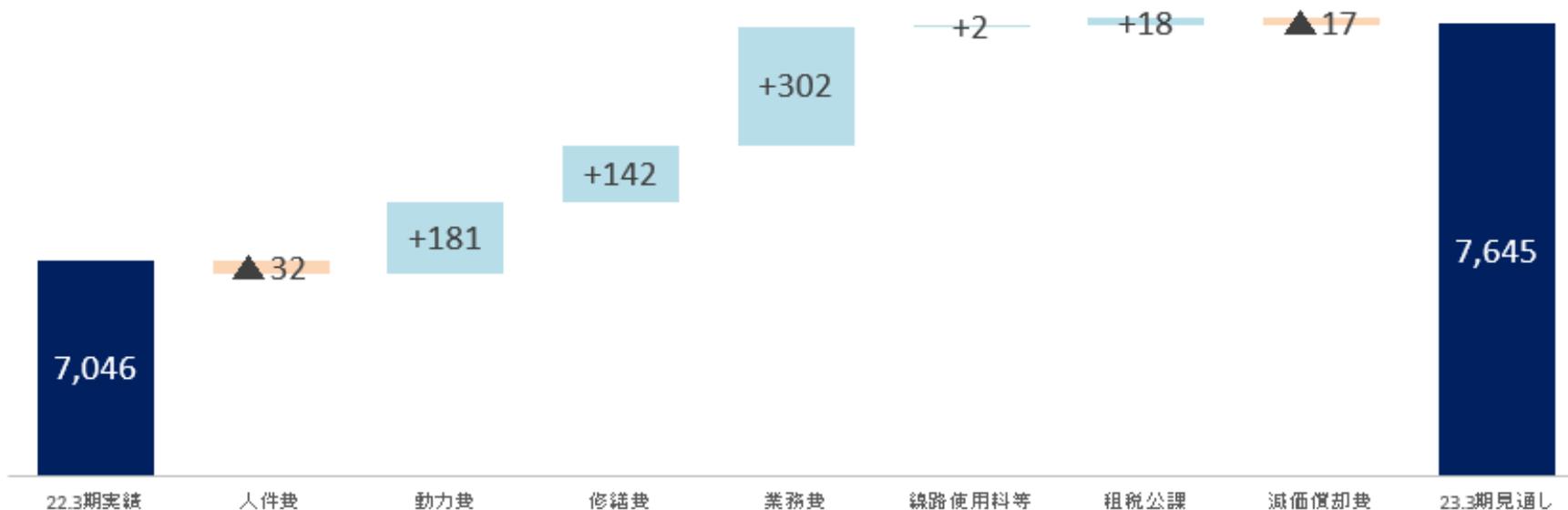
		2023年3月期 通期見通し			
		対前年	主な増減要因		
新幹線	3,390	+1,273 (160.2%)	基礎トレンド(100.0%)		
			特殊要因	・コロナ影響の低減	+1,228
				等	
在来線	2,510	+402 (119.1%)	基礎トレンド(100.0%)		
			特殊要因	・コロナ影響の低減	+392
				等	
その他	830	+176 (127.1%)	基礎トレンド(100.0%)		
			特殊要因	・コロナ影響の低減	+169
				等	
在来線計		3,340	+579 (121.0%)		
運輸収入計		6,730	+1,853 (138.0%)		

※荷物収入は金額些少のため省略

# 12.単体営業費用の見通し

(単位：億円)

	2023年3月期 通期見通し			主な増減要因
		対前年		
人件費	1,775	▲ 32	98.2%	人員の減 等
動力費	590	+181	144.6%	燃料費調整額の増 等
修繕費	1,510	+142	110.5%	先送りしていた修繕の実施 等
業務費	1,875	+302	119.3%	収入連動経費の増、抑制していた施策の実施 等
線路使用料等	270	+2	100.8%	
租税公課	370	+18	105.3%	法人事業税の増 等
減価償却費	1,255	▲ 17	98.6%	
営業費用計	7,645	+598	108.5%	



# 13.連結業績予想

(単位：億円)

	2022年3月期 通期実績 A	2023年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	10,311	13,090	+2,778	127.0
営業費用	11,501	12,790	+1,288	111.2
営業利益又は損失 (▲)	▲ 1,190	300	+1,490	—
営業外損益	▲ 19	▲ 165	▲ 145	—
営業外収益	236	72	▲ 164	—
営業外費用	255	237	▲ 18	—
経常利益又は損失 (▲)	▲ 1,210	135	+1,345	—
特別損益	154	90	▲ 64	—
特別利益	588	—	—	—
特別損失	433	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失 (▲)	▲ 1,131	585	+1,716	—
1株当たり当期純利益 又は純損失 (▲) (円)	▲ 516.06	239.88	755.94	—

# 14.連結業績予想(セグメント別)

(単位：億円)

	2022年3月期 通期実績 A	2023年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益 <sup>*1</sup>	10,311	13,090	+2,778	127.0
運輸業	5,441	7,390	+1,948	135.8
流通業	1,242	1,680	+437	135.2
物販・飲食	1,020	1,390	+369	136.3
【宿泊特化型ホテル】(再掲) <sup>*2</sup>	【62】	【125】	【+62】	【199.5】
百貨店	181	240	+58	132.5
不動産業	1,511	1,620	+108	107.2
ショッピングセンター	456	540	+83	118.3
不動産賃貸・販売	1,040	1,075	+34	103.3
【不動産販売】(再掲)	【566】	【573】	【+6】	【101.2】
その他	2,115	2,400	+284	113.5
ホテル	185	315	+129	169.6
旅行	959	1,110	+150	115.7
営業利益又は損失(▲) <sup>*1</sup>	▲ 1,190	300	+1,490	—
運輸業	▲ 1,443	▲ 110	+1,333	—
流通業	▲ 86	20	+106	—
物販・飲食	▲ 71	10	+81	—
【宿泊特化型ホテル】(再掲) <sup>*2</sup>	【▲43】	【▲20】	【+23】	—
百貨店	▲ 14	5	+19	—
不動産業	300	350	+49	116.6
ショッピングセンター	45	70	+24	154.1
不動産賃貸・販売	172	200	+27	115.9
【不動産販売】(再掲)	【64】	【72】	【+7】	【112.3】
その他	29	70	+40	235.1
ホテル	▲ 90	▲ 40	+50	—
旅行	24	0	▲24	—

<sup>\*1</sup> 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

<sup>\*2</sup> 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

# 15.各セグメントの見通し

(単位：億円)

			2023年3月期通期予想			主な増減要因
			対前年			
			増減	比率(%)		
流通業	物販・飲食	営業収益	1,390	+369	136.3	・ 需要回復による構内店舗、宿泊特化型ホテルの売上増 等
		営業利益	10	+81	-	
	百貨店	営業収益	240	+58	132.5	・ 需要回復による店舗の売上の増 等
		営業利益	5	+19	-	
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	540	+83	118.3	・ SC売上高回復による賃料収入の増 等
		営業利益	70	+24	154.1	
	不動産賃貸・販売	営業収益	1,075	+34	103.3	・ 賃貸物件開業、販売増 等
		営業利益	200	+27	115.9	
その他	ホテル	営業収益	315	+129	169.6	・ 需要回復による宿泊部門の売上増 等
		営業損失	▲ 40	+50	-	
	旅行	営業収益	1,110	+150	115.7	・ 国内旅行需要の回復による旅行事業の増 等
		営業利益	0	▲ 24	-	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

# 16.諸元表

(単位：人、億円)

	2021年3月期 通期実績 <sup>*2</sup>	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期予想
連結ROA (%)	—	—	0.8
連結ROE (%)	—	—	5.9
連結EBITDA <sup>*1</sup>	▲ 708	429	1,930
連結減価償却費	1,734	1,608	1,630
連結設備投資 (自己資金)	2,166	2,131	2,450
単体設備投資 (自己資金)	1,674	1,494	1,640
安全関連投資	1,051	830	730
1株当たり配当金 (円)	100.0	100.0	100.0

	2021年3月期 通期実績		2022年3月期 通期実績		2023年3月期 通期予想	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数 (就業人員)	47,984	23,900	46,779	22,715	—	—
金融収支	▲ 195	▲ 178	▲ 181	▲ 188	▲ 198	▲ 181
受取利息・配当金	9	24	32	24	12	26
支払利息	204	202	214	212	210	208

\*1 EBITDA = 営業利益又は損失 + 減価償却費 + のれん償却額

\*2 2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとしうる重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
  - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
  - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
  - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
  - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
  - 感染症の発生・流行
  - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2022年4月28日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2022年4月28日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/>